

は~とわ~と♥

Heart Net

11
vol.は~とわ~と♥
ご自由に
お持ちください

院長就任のあいさつ
伝言板

狭心症の血管内治療法

～PCI(経皮的冠動脈インターベンション)について～

赤星選手から贈られた車椅子



プロ野球の元阪神タイガース、赤星憲広外野手が、2003年から行っている活動をご存知でしょうか。

2001年、赤星選手が足の不自由なファンの方と出会い、たくさんの声援と勇気をもらったことがきっかけで、自分が多くの人にプレー以外での恩返しをする方法はないかと考えて始めたのが、シーズン1年間の盗塁数分の車椅子を、病院や施設に寄贈することでした。「自分の頑張る姿が、体の不自由な人に勇気や希望を与えられれば…」という気持ちで続けられ、それが同時に自分の使命となって盗塁数を積み上げられ、2009年までに通算301台もの寄贈をされたそうです。

昨年、当院にもその車椅子が寄贈されました。その車椅子は、赤星選手の名前にちなんで座面、背もたれ面全体が赤色で、背もたれ後面には、「勇気」の文字と、力強い手書きのサインが書かれています。病室やリハビリ室で使われているこの車椅子からは、「どんなハンディキャップを持っていても負けないで頑張ってほしい」という赤星選手の思いと力強さが伝わってきます。患者さんにも、そんなパワーを感じていただき回復の助けになってほしいと思います。

赤星選手は2009年、惜しくも引退されましたが、その後も「Ring of Red～赤星憲広の輪を広げる基金」として活動され、車椅子寄贈を続けられています。私たちも、職員一丸となって、自分たちが患者さんのためにできることを精一杯考え、日々の業務に力を入れていきたいと考えています。



側面にはカッコいいロゴが

外来担当医表

	月		火		水		木		金		土	
午前	高橋	野中	大坊	野中	大坊	米増	/	大坊	本田	大坊	米増	交代制
午後	大坊	斎藤 <small>(第1~3週) (第2~4週)</small>	安藤	恩田	恩田	本田	宮田	高橋 <small>*1</small>	野中	安藤	本田	

※1: 脳血管内治療専門外来

※2: 循環器内科外来

理念

患者様に理解・信頼され、医師にも信頼される病院を目指します。

1. 医の倫理を重んじ、安全かつ高水準で、患者様のための最善の医療を提供します。
2. 患者様のプライバシーを守り、必要な説明責任を果たします。また、ご自身の医療について知る権利・選択する権利・決定する権利を最大限尊重します。
3. 職員は自らの知識・技術・マナーの向上を図り、医療人として自覚し資質を高めるよう研鑽します。
4. 地域住民の健康管理を通して予防医療を行い、地域医療に貢献します。

指針

1. 平等かつ公平に医療を受ける権利

病気、性別、年齢、社会的立場、宗教などにかかわらず、どなたでも平等に適切な医療を受けることが出来ます。

患者様の権利

2. 良質な医療を受ける権利

安全で最善の医療を効率的に受けることが出来ます。

3. 十分な説明と情報提供を受ける権利

病気、検査、治療、危険性、他の治療方法や見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける事が出来ます。

4. 自己決定の権利

十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意志で選択・拒否することが出来ます。

5. 選択の自由の権利

医療機関を自由に選択・変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める事が出来ます。

6. 個人情報が守られる権利

診療上得られた個人情報を、ご自身の承諾なしにみだりに、他人に漏らされることはありません。

7. 苦情を申し立てる権利

マナーや対応についてご意見がありましたら、意見箱及び、相談窓口を御利用下さい。

看護師募集のおしらせ/

私たちと一緒に働いてくださる看護師のみなさんを募集しております。詳しくは、当院看護部ホームページhttp://www.ssn-hp.jp/recruitまたは、問合せ:看護部長・田代まで

011-863-5151(代表)

名称／特定医療法人 札幌白石脳神経外科病院
診療科目／脳神経外科、脳血管内治療科、循環器内科、リハビリテーション科

住所／〒003-0026

札幌市白石区本通8丁目南1番10号

電話／代表(011)863-5151

FAX／(011)863-5161

HPアドレス／http://www.ssn-hp.jp/

編集後記 STAFF VOICE



塚本 健太

本格的に暑い季節になってきましたね。体調管理には十分気をつけて、暑さに負けずに毎日頑張りましょう!!節電のためにうちわでも買おうかな…☆



院長就任のあいさつ

平成24年4月より、大坊雅彦院長の後任として、院長を拝命することになりました。

当院は平成23年9月21日に白石区本通8丁目に新築移転し、札幌右脳神経外科病院と病院名も改称し、新たなスタートを切りました。

CT、脳血流測定機器を装備し、高度な治療が的確に行える環境を整えることができました。その中でも特に脳動脈瘤^(りゅう)に対してもコイル塞栓術^(けいおう)、頸部動脈狭窄^(くびのくどうみやせき)に対するスリント留置術、さらには脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法とこれに引き続く機械的再開通療法など、これまでに体力的に問題の多かつた高齢の方に対しても行えるカテーテル

テル技術を駆使した”からだにやさしい治療“の提供に力を注いでおります。

当院は、札幌市白石区本通15丁目に開業して以来、約30年間、白石区さらには近隣区町村の住民の方々の救急医療に取り組んでまいりました。

今後とも周辺住民の皆様の救急医療の一端を担うとともに、脳卒中診療における最新の治療をお届け出来るよう頑張る所存です。さらに治療だけではなく、地域における脳卒中の予防活動にも力を入れ、皆様方の健康管理にお役立ち出来るよう、職員一同頑張っていきたいと考えております。これからも宜しくお願い致します。

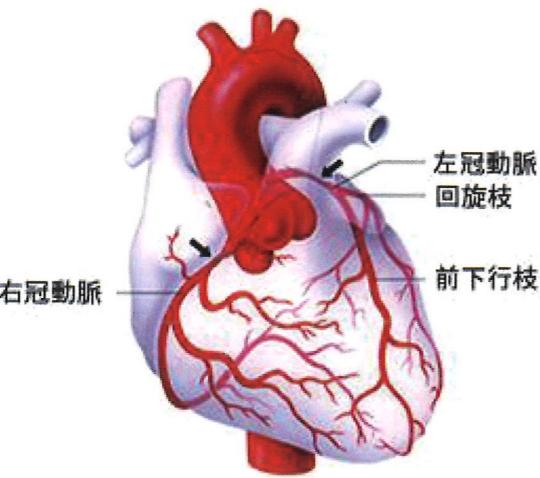


特定医療法人
札幌白石脳神

経外科病院
院長
野中 雅
（なか まさし）

特 集

狭心症の血管内治療法



PCIによる手術前後の画像。手術前には冠動脈の赤丸で囲った部分に狭窄が認められるが、手術後は拡張しているのがわかります

② 冠動脈ステント留置術

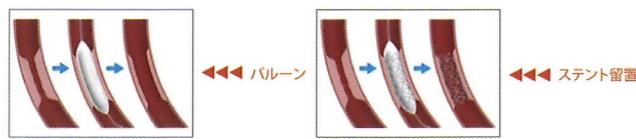
1 風船治療

風船治療
(POBA: Plain Old Balloon Angioplasty)

心臓には、心臓を栄養する左右の冠動脈があります。そのうち、左冠動脈は、左前下行枝と左回旋枝の2本に分かれています。大きくて3本あります。もしも、これらの冠動脈が動脈硬化のため狭くなると、「皆さん」存知の「狭心症」という病気になります。

この狭心症を治療する方法に、手首や肘、足のつけ根の血管からカテーテルを入れる「PCI」という血管内治療方法があります。PCIには主に以下の3つの方法があります。

風船による冠動脈拡張術で、現在も基本的な治療法です。しかし、冠動脈の再狭窄、急性冠動脈閉塞、拡張不能病変の存在、「冠動脈破裂」といった欠点や合併症を引き起こす可能性もあります。



30

口一タブレーターというのは、先端にダイヤモンドの粉を散りばめた直径1.5～2.5mmの高速回転ドリルで冠動脈の狭窄病変部を削る治療方法です。風船治療では困難だった硬い病変や再狭窄に対しても適応されます。しかしこの方法にも合併症（急性冠動脈閉塞、急性心筋梗塞、死亡など）が起こることがあります。

ピリン、プラビックスなど)の内服が必須となります。ステント治療も風船治療と同様に、6～8か月後の冠動脈造影検査が必要となります。

ステント治療では、ステントの再狭窄という問題点があり、これに 対して最近では薬剤溶出性ステントという新しいステントが用いられるようになりました。このステントには免疫抑制剤がコーティングされており、再狭窄率は一割弱程度まで減少しましたが、この薬剤溶出性ステントではまだ長期的な有効性が確認されておらず、先ほどの血液をサラサラにする薬を長期(少なくとも一年以上、出来れば半永久的に)服用する必要があり、薬の副作用や他の検査・手術を行う際に問題となることがあります。

